

令和3年度
印西市民アカデミーだより
 第5号

印西の歴史散策 4 (永治/本郷・宮内)

6月25日(金)、第4回目の歴史散策は、手賀沼に隣接した永治地区を散策しました。コースは、松山下公園→大六天神社→観音寺→浦部鳥見神社→皇大神宮社→妙見宮→月影の井→松山下公園です。歩く距離は約3kmと短いですが見所満載のコースです。



大六天からの眺望

大六天神社が祀られている丘からは、手賀沼の干拓事業でできた広大な水田の景色が眺められます。遠くに筑波山を望む「印西八景」の一つです。桜の季節がお勧めです！



観音寺

天台宗日照山観音寺は、天長6年から承和4年(829～837)の間に円仁(後の慈覚大師)によって手賀沼湖畔の高台に創建された古刹です。乳なし仁王尊は一見の価値あり！



浦部鳥見神社神楽殿

浦部鳥見神社では、毎年10月の第3日曜日に行われる例大祭に「浦部十二座神楽」(昭和42年千葉県無形民俗文化財指定)が奉納されます。現在、コロナの影響で休止中。

宮内青年館近くの丘の上に皇大神宮社があります。その社に上がるための石段は昭和初期に寄進されたもので、現在も使われています。



皇大神宮社

寄進時の記念写真

現在は手摺設置



妙見宮

浦部字神台の高台に中世城郭「龍崖城」の跡があり、その西南隅に千葉氏一族が守護神とした妙見菩薩を祀った妙見神社があります。毎年2月22日に伝統行事「鳥オビシヤ」が行われます。



月影の井

龍崖城主の大菅豊後守政氏の「初湯」あるいは「行水」に使われたという「星影の井」があります。日本三名井(鎌倉市の星の井、二本松市の日の井)の一つに数えられています。